

寄せられた意見

No. 88-1

受付日	H18. 1. 26	年齢		居住市町村名	名寄市
件 名	サンルダムに対する私の意見				

サンルダムに対する私の意見

今、名寄川の流域においてダムに対する必要性の有無をめぐっての意見が、反対か賛成かに分かれている。

当然、それぞれの主張は出て来るのは当たり前と思います。

自然保護関係の団体の考え方もある一面を捕らえると、そうかなとも受け取れる面もある。

今、世界的に環境問題が重要視されているのも現実です。

私自身、自然をテーマとする報道番組とか、大動物、小動物の番組、世界に点在している希少動植物、世界遺産等々、これらの放送を聞いたり見たりするのが大好きである。

また、人間が自然を克服し世界で何十億もの生活している実態を考える時、人間の愚かさ失敗を積み重ねている現状をみた時、深く思いをめぐらせる1人でもあります。

私は、名寄川の流域（中名寄地区）に住んでいます。

幼い頃から川に親しみながら育ってきました。なにせ家の裏に名寄川が流れているのですから、現在も暇があれば釣りにも出かけるし、子供にも川の楽しさを伝え帰省のたびに川に親しんでいます。

それと同時に自然に対する畏敬の念を持っています。

私は、農業者（水田耕作）です。自分の職業から考えて行くと、このサンルダムは造らなければならないと思う。

当初この問題に関しては、軽い気持で推進をながめて来ました。

だが、真剣に考えて精査してみると、我々農業者には到底受け入れることの出来ないことがあります。それは、名寄川が大洪水になった時、ダムを造成しなければ洪水対策の一環として、広大な遊水池として確保する必要になると言われているその遊水池の場所が、上名寄地区、中名寄地区、旭東地区、日進地区が候補地となっている。

特に中名寄地区は水田面積のほとんどの農地が対象となって行く計画だとも言われている。

そうなれば、我々地域に住んでいる、耕作者は壊滅的な打撃を与えられる。

我が家では、昔、洪水対策として昭和25年以降3回も買収させられた歴史がある。その度に肥沃な農地が奪われこの地区では最も多かった。

当然、買収には補償費は支払われたが、安価な代金でとても再生産出来るものでなかった。逆に「お上」の言うこと聞かなければならぬ状態であった。

寄せられた意見

No. 88-2

受付日	H18. 1. 26	年齢		居住市町村名	名寄市
件 名	サンルダムに対する私の意見				

しかしそれにもめげずに着々と農地（水田）を広げ、ようやく人並みの生活を確保し規模拡大を続け現状に至っている。

たしかに、このことにより名寄川に築堤（堤防）が出来、洪水の危険度は薄れて来てはいるが災害はいつ襲って来るか別らない。

だがこれ以上この地区の農地がダムの替りに遊水池として利用されるならば、どんなことがあっても絶対に阻止する考えである。

先祖が苦労に苦労を重ねて来た土地を・・・・納得いかない。

幸いに、下川サンル地区の農業者は買収に同意して、すでにダム工事の一部が進んでいる。そうであるならその通りに進めてほしい。

大洪水は50年か100年に一度とも考えられるが、しかしそれが現実となった時、周辺市町村は測りしれない影響をうけるだろう。

何回も言うが、水の恐ろしさ、悲惨さは、私自身幼少の頃経験している。人命が奪われて来ているのだから。

平成18年1月26日　名寄市 [REDACTED]